



大内中だより

Webページはこちら→



さつきの丘

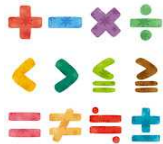
令和7年1月20日
第37号

秋田県学力・学習状況調査（1・2年生対象）の結果（12/5実施）

1年生「県と比較した本校の平均正答数・生徒質問紙」

「各教科の平均正答数」

	大内中	秋田県
国語	12.5	11.7
社会	12.1	12.2
数学	<u>12.8</u>	11.3
理科	11.9	11.1
英語	11.1	11.8



「生徒質問紙」での肯定的回答の割合(%)

	大内中	秋田県
勉強が好きだ	62.2	49.7
勉強は大切だ	97.3	97.0
学校の勉強がよく分かる	86.5	84.6
学校が楽しい	94.6	91.6
自分にはよいところがある	75.7	79.8
将来の夢や目標がある	83.8	78.2
地域のためになる活動への意欲	81.0	85.4
1ヶ月の読書量（3冊以上）	59.4	33.1

①数学科で、県平均正答数を1問以上、上回っている。

②英語では、会話を成り立たせる英文の作成（2題）、メッセージを踏まえた英文の作成が苦手とみられる。

③「勉強が好きだ」という割合が県平均を大きく上回っている。引き続き、生徒の向上心にアプローチし、更に高めていきたい。

2年生「県と比較した本校の平均正答数・生徒質問紙」

「各教科の平均正答数」

	大内中	秋田県
国語	13.2	13.5
社会	10.7	10.8
数学	<u>9.6</u>	10.8
理科	10.8	11.0
英語	<u>8.8</u>	10.2



「生徒質問紙」での肯定的回答の割合(%)

	大内中	秋田県
勉強が好きだ	50.0	44.0
勉強は大切だ	100.0	97.2
学校の勉強がよく分かる	70.0	83.1
学校が楽しい	90.0	91.0
自分にはよいところがある	67.5	82.6
将来の夢や目標がある	80.0	74.4
地域のためになる活動への意欲	90.0	84.1
1ヶ月の読書量（3冊以上）	42.5	28.1

①数学と英語では、県平均正答数を1問以上下回っている。

②数学では、連立方程式、等式の変形、文字を用いた式などの計算領域に、英語では、聞き取った内容についての応答や英文の作成に課題がある。

③勉強の大切さを理解している生徒が多い。一方で、学校の勉強がよく分かると回答した割合は多くない。各教科で、個に応じた学習(指導)の時間を意図的に設定して、基礎基本の定着を図り、「分かる授業」づくりに努めていきたい。

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果（3年生対象、4月実施）

本市全体の結果を裏面に掲載しております。合わせて、本校の結果（概要）をお伝えします。

国語平均正答数 秋田県比+0.4 数学平均正答数 秋田県比+0.1

○県平均と比較して約8%以上高い質問紙項目

- ・質問(15)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の「当てはまる」と回答した割合
- ・質問(25)「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に肯定的回答をした割合

▲県平均と比較して約8%以上低い質問紙項目

- ・質問(20)「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか？」に肯定的回答をした割合

令和6年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

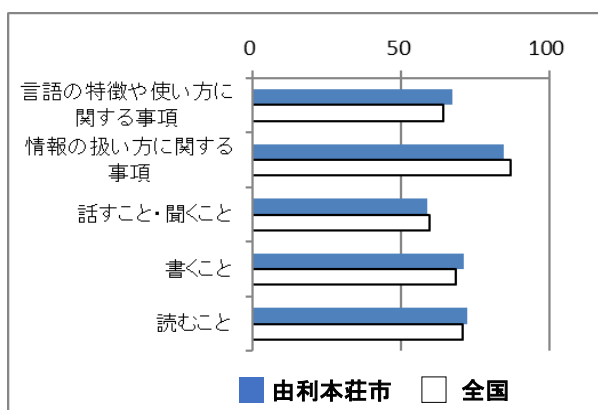
本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和6年4月18日（木）に実施されました。

2 調査の内容

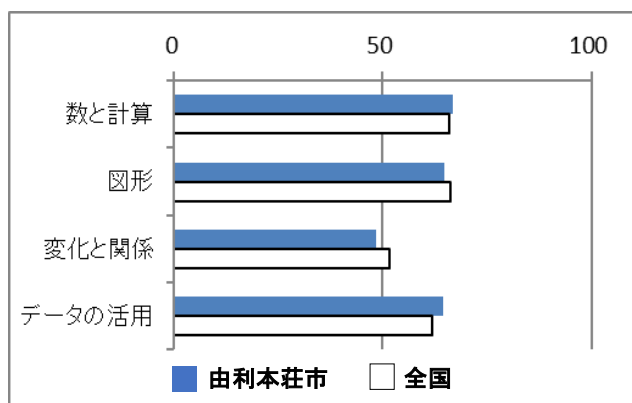
調査内容は、小学校が国語と算数、中学校は国語と数学が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

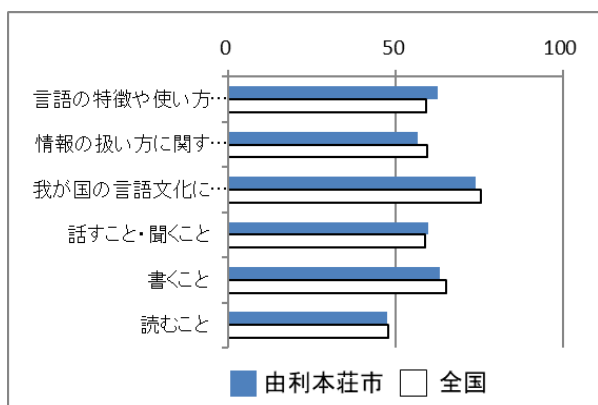
＜小学校国語＞



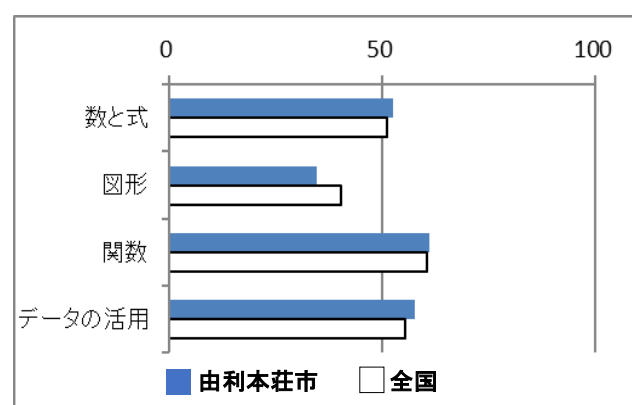
＜小学校算数＞



＜中学校国語＞



＜中学校数学＞



質問紙調査からは、小学校・中学校ともに、地域や社会をよくするために自分が何かしてみたいとの回答が昨年度同様、全国平均を大きく上回っていました。由利本荘市の地域を素材としたふるさと教育が児童生徒によりよく反映されていることが分かる結果となりました。その一方、1日あたりの学習時間は減少傾向にあります。また授業でのICTの活用については、3年連続増加していますが、全国と比較すると下回っている状況です。放課後の時間とICTのより有益な使い方について、さらに改善していく必要があります。